

さいたま市長定例記者会見

令和6年3月12日（火曜日）

午後1時30分開会

○ 進 行 それでは、定刻になりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。

 それでは、記者クラブ幹事社、テレビ埼玉さん、進行をよろしくお願ひします。

○テレビ埼玉 3月の幹事社を務めますテレビ埼玉と申します。よろしくお願ひします。

 それでは、本日の記者会見内容につきまして、市長から説明をお願いします。

○ 市 長 皆様、こんにちは。

 いよいよ16日の土曜日に北陸新幹線が敦賀駅まで延伸となります。この延伸により、福井県の皆様とより身近になり、お会いできる機会が増えることを大変嬉しく思っています。

 昨年12月、福井県の杉本達治知事が本市にお越しになり、相互発展に向けた連携協定を締結しました。延伸当日は、私が福井市を訪問し、関係者の皆様と交流を図りたいと考えています。

 また、その後、七尾市の避難所を訪問します。インフラが十分に復旧しておらず、厳しい避難生活を余儀なくされている皆様に支え、頑張っている本市の職員に直接言葉をかけ、激励してまいります。

 さらに、七尾市の茶谷義隆市長との面会も予定しています。地震発生から休む間もなく復旧復興に取り組まれていらっしゃる中、大変貴重なお時間をいただきましたことに感謝を申し上げます。この時間を有意義なものとするため、被災地の現状、困っていることなどをしっかりお聞きし、本市の支援につなげてまいりたいと考えています。

 今回多くの皆様とお会いできる機会をいただいています。引き続き、絆を大切にしながら、東日本全体の活性化を牽引する中枢都市として、皆様とのつながりを深めてまいりたいと考えています。

 それでは、議題に入ります。

市長発表：議題1「令和6年さいたま市議会2月定例会追加提出議案について」

議題1「令和6年さいたま市議会2月定例会追加提出議案について」説明します。

令和6年さいたま市議会2月定例会に追加議案を3月13日に提出を予定しています。議案数は合計で5件です。内訳は、予算議案が1件、条例議案3件、人事議案が1件。

主なものとして、補正予算議案を説明します。補正予算議案は病院事業会計のみで、5億662万8,000円です。補正予算の内容について説明します。これは、さいたま市立病院において、令和4年度に適正な手続きを経ずに金融機関から借り入れた企業債について繰上償還を行うものです。

本件については、職員の事務処理誤りに起因するものであり、市民の皆様にご心配をおかけしていることをお詫び申し上げます。また、速やかに是正を行うとともに、このような不適切な事務を生じさせないよう再発防止に取り組んでまいります。

市長発表：議題2「さいたま市省エネ家電買換え促進キャンペーンを実施します」

続いて、議題2「さいたま市省エネ家電買換え促進キャンペーンを実施します」について説明します。

市民の皆様から大変多くの期待をいただいている「さいたま市省エネ家電買換え促進キャンペーン」がいよいよ開始します。

さいたま市では、2050年二酸化炭素排出実質ゼロ、いわゆるゼロカーボンシティを目指すことを表明し、その実現に向け、省エネルギー化の推進や持続可能なエネルギー政策の推進など、様々な施策を行っています。

このキャンペーンは、その取組の一環として、家庭部門のCO₂排出量のさらなる削減と、エネルギー価格の高騰による電気料金の負担軽減を目的に実施するものです。

さいたま市民の皆様限定で、対象の省エネ家電に買換えると、キャッシ

キャッシュレスポイントなどを最大7万円還元するものです。キャンペーン期間は、令和6年3月22日から9月30日までを予定しており、予算が無くなり次第終了となります。なお、3月22日より前に購入した製品はキャンペーンの対象外となります。

対象者は、申請時点でさいたま市に住民登録のある者で、市内の登録販売店で対象家電を買換えした方です。対象品目は、エアコン、冷蔵庫、テレビ、LED照明器具です。国が定める統一省エネラベルの省エネ性能がエアコン、冷蔵庫、テレビは星3以上、それからLED照明は星4以上であることが条件です。

還元額は、対象製品の本体購入価格（税抜）の2分の1で上限額は7万円です。本キャンペーン全体の予算額は約13億4,660万円です。還元方法は、原則こちらにお示しのキャッシュレスポイントでの還元となります。スマートフォンをお持ちでない場合などは、商品券等での還元となります。

続いて、申請方法について説明します。まず、登録店舗において、キャンペーン期間内に対象製品を購入します。購入後、購入店舗から申請チケットを受領して、申請フォームからポイント等交付申請をしていただきます。原則オンラインで交付申請手続きを行っていただくことになります。

スマートフォンをお持ちでない場合などで、オンライン申請が出来ない方は郵送による申請も可能です。キャッシュレスポイント還元までは、申請後約1か月程度を見込んでいます。

続いて、市内家電販売店舗の皆様に向けたお願いです。本キャンペーンは、市内事業者への経済的支援も目的としています。さいたま市内の登録店舗で購入した場合のみ対象となることから、市内家電販売店舗の皆様におかれては、ぜひオンラインで店舗登録をお願いします。店舗登録をしていただくと、特設サイト内の登録店舗リストに掲載、公表され、市民の皆様から見て登録店舗であることが分かるようになります。店舗登録後には、申請チケット、店頭ステッカーを登録店舗に送付します。さらに、登録店舗マニュアルやキャンペーンポスターの販促ツールがダウンロード可能となります。

なお、先日2月27日に店舗説明会を開催しましたが、この内容は特設

サイト上でも動画で公開していますので、ぜひご覧いただきたいと思ひます。

特設サイトは、2月28日から開設していますので、キャンペーンの詳細はこちらで確認していただきたいと思ひます。

最後に、問合せ先ですが、さいたま市省エネ家電キャンペーン事務局として、市民用のコールセンター、登録店舗用コールセンターをそれぞれ設けています。それぞれのお問合せ先は、こちらにお示しのとおりです。今回、一人でも多くの市民の皆様に省エネ家電への買換えを検討していただくため、他の政令指定都市を大幅に上回る補助上限額7万円を設定させていただきました。

このキャンペーンを通じて、脱炭素社会の実現に向けた市民の皆様への行動変容につながればと考えているため、一人でも多くの市民の皆様にご活用いただきたいと思ひます。

私からの説明は以上です。

○テレビ埼玉

ありがとうございました。

今の清水市長からの説明について、質問のある社はマイクを使用してお願いします。

議題に関する質問

○ 埼玉新聞

埼玉新聞です。

冒頭ありました福井の延伸は、どのようなイベントとかに参加するのかということと、石川県七尾市にはいつ頃行かれて、どういうふうな行動をされるかというのを教えてください。

○ 市長

これは、幹事社質問にもありますので、幹事社質問を先にお答えしましょうか。

○ 埼玉新聞

七尾の件は。

○ 市長

七尾の件だけでよろしいですか。

○ 埼玉新聞

何日、どういうところで。

○ 市長

正式な時間等については、後ほどお知らせしたいと思ひますが、福井での新幹線のイベントに参加した後に七尾市に立ち寄らせていただいて、避難所に訪問させていただくということと、その後に七尾市長さんにお目に

かからせていただいて、状況についてお伺いするとともに、これからの支援などについてもご相談させていただければと考えています。詳細については、後ほどお知らせします。

幹事社質問：

(1) 新年度の少子化対策・子育て支援への考え

(2) 北陸新幹線延伸による期待

○テレビ埼玉

では、幹事社として代表質問をさせていただきます。質問は2問あるのでまとめて質問させていただきます。

1つ目です。厚生労働省が先月27日に発表した去年の全国の出生数、速報値ではありますが、過去最少の75万人余りという結果となり、婚姻数も90年ぶりに50万組を割りました。全国の結果ではありますが、改めてこの結果を受けて、新年度の少子化対策・子育て支援への市長のお考えをお聞かせください。

2個目、先ほど挨拶の中でもありましたが、北陸新幹線の金沢から敦賀間が16日に延伸されるということで、さいたま市は、昨年12月に福井県と連携協定を締結していますけれども、今後どのようなことを期待するか改めてお聞かせください。

○市長

それでは、幹事社質問に順次お答えします。

先日発表された人口動態統計の速報値に関する報道に接しまして、私も少子化や未婚化、晩婚化に歯止めがかからない現状に強い危機感を感じています。本市は、0歳から14歳までの子どもの転入超過数が9年連続で全国第1位となりましたが、本市においても出生数は令和3年に1万人を割り、その後も減少傾向を続けて、昨年は速報値で、9,374人、また昨年の婚姻件数の速報値もコロナ禍の影響を受けた令和2年や令和3年を下回る5,854組となり、少子化対策をより一層強化する必要があると決意を新たにしたところです。

本市では、少子化の危機的状況を打破するために、昨年8月に私を座長とする、副市長や教育長、関係局長等からなる「こどもまんなか・少子化対策会議」を設置して、こどもまんなか社会の実現や少子化対策について様々な視点から全庁横断的な検討を進めているところです。現在当初予算

を議会で審議いただいているところですが、令和6年度の子ども・子育て関連予算は前年度比で183.6億円増、13.1%増の1,577.1億円と大幅に増加した形で計上させていただきました。

具体的には、結婚、妊娠・出産期から青年期までの各ライフステージに合わせた支援強化策としまして、「結婚、妊娠・出産期から青年期まで切れ目のない経済的支援の充実」、「親子の絆を社会全体で支える子育て支援の充実」、「良好な教育環境と居場所の確保」といった観点から、子育て支援医療費の助成の高校生年代への拡大や産後ケア事業、子育てヘルパー派遣事業の充実、またこども誰でも通園制度（仮称）の試行的実施、放課後の居場所づくりのモデル事業の実施、不登校等児童生徒への支援の充実など、新規、拡大事業を予定しています。

少子化問題については、経済的な不安定さや出会いの機会の減少、仕事と子ども・子育てとの両立の難しさ、子育てや教育に係る費用負担など、様々な要因が複雑に絡み合っているものと言われています。そのため、今後も引き続き本市を取り巻く状況の分析や既存の施策の検証などを通じて、本市の課題を見極めながら、児童福祉に限らず、教育や住宅、雇用環境など、多面的な視点から本市の実情に即した施策を総合的に講じられるよう、私自身が先頭に立って進めていきたいと考えています。

続いて、2つ目のご質問の北陸新幹線の開通に伴う期待ですが、北陸新幹線が福井県まで開業し、大宮駅から敦賀駅まで乗換えせず移動ができるようになります。福井駅までおよそ30分、敦賀駅までおよそ50分、移動時間が短縮されることによって、これまで以上に福井県との人や物の交流が活発化するものと考えています。

本市においては、本日から3月24日までまるまるひがしにほんにおいて北陸新幹線延伸開業記念の「ふくいの魅力いっぱいフェア」を開催するほか、福井市と敦賀市で開催される新幹線開通当日イベント、また3月31日に開催される「ふくい桜マラソン」へのブースの出展を予定しています。

さらに、来年度以降、本市と同様にトップクラスの教育レベルを誇る福井県との教育分野での交流や、女性職員同士の交流など様々な分野での連携を予定しています。

今回の北陸新幹線の延伸開業を契機とした連携協定に基づく取組をきっかけとして、双方の県民、市民の交流人口や関係人口が拡大し、教育、スポーツ、観光や経済など、お互いの地方創生に資するような取組につながっていくことを期待したいと考えています。またあわせて、被災された地域の皆様との交流や、復興支援に少しでも貢献ができればと考えています。

以上です。

○ テレビ埼玉

ありがとうございました。

それでは、代表質問の説明に関して質問のある方は質問をお願いします。

それでは、そのほかに質問がある方をお願いします。

その他：省エネ家電買換え促進キャンペーンについて

○ 読売新聞

お話ありがとうございました。読売新聞です。

すみません。お話戻してしまって恐縮ですが、エコキャンペーンのところで今回予算額を13億円にしていच्छゃると思うのですが、この根拠というか、何件ぐらいの申請を見込んでいच्छゃるのでしょうか。

○ 事務局

今回の事業について、まず想定是件数は、機器ごとに設定していて、順番に申しますとエアコンが4,800、冷蔵庫が9,600、テレビが4,200、LED照明器具が7,200で、想定件数は2万5,800で積算をしているところです。

以上です。

○ 読売新聞

ありがとうございます。あと、この品目にした何か理由ってあるのでしょうか。

○ 事務局

理由が今回CO₂の削減を目的としています。家電の中で、削減効果の高い、省エネ性能の高い機器の順に設定させていただいたものです。

以上です。

その他：審議会から新庁舎整備等基本計画の答申を受けて

○ 読売新聞

読売新聞です。

先日、新庁舎審議会のほうで新たな庁舎の基本計画の案が示されたと思います。市長の受け止めをお伺いさせていただきますでしょうか。

○ 市長 新庁舎整備についての基本計画の答申をいただきました。短期間の中で審議会の先生方、また委員の皆様におかれましては、大変活発なご議論をいただいたと伺っています。活発なご議論をしていただきながら、今後のさいたま市役所の在り方、市民にとっての市役所、市役所の存在意義など様々な視点でご議論いただいたものです。それらを先日答申いただきました。

私たちとしては、最大限その答申を尊重しながら、しっかりと基本計画を策定していきたいと考えています。市民の皆さんにとっても親しまれ、愛される庁舎になるように、またこれからのさいたま市政のまさにシンボルになるように、そんな施設に出来上がればと考えています。

以上です。

その他：省エネ家電買換え促進キャンペーンについて

○ 時事通信 時事通信です。

発表内容に戻るのですが、買換えキャンペーンというのは、市としてこのようなキャンペーンを実施するのは初めてでしょうか、それともこれまでもやったことがあるか教えてください。

また、このキャンペーンに関して市長として期待されることをお願いいたします。

○ 市長 省エネ家電についてのキャンペーンは初めてです。今回のキャンペーンについては、一人でも多くの市民の皆様へご活用いただくことが重要であるという認識の下に、皆様のご家庭の二酸化炭素排出量の削減や、あるいは今非常に電気料金の負担が大きくなってきていますので、その軽減を図るべく、他市よりも大幅に上回るインセンティブとして補助上限額を7万円に設定させていただき、また総額としても13億4,660万円と大変大きな金額を設定して取り組ませていただきます。

このキャンペーンを通じて、脱炭素社会の実現に向けた市民の皆様への行動変容につなげていきたいと考えていますし、多くの市民の皆様にご活用いただきたいと考えています。

その他：職員による事務処理誤りについて

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
- 戻るのですけれども、病院事業会計の事務処理ミスということで、昨年債務負担行為の問題も起きましたけれども、立て続けに事務処理ミスがあったことへの市長の受け止めをお願いいたします。
- 市長 ご指摘のとおり、職員による事務処理誤りが続いています。市民の皆様や議会からの信頼を損ねる結果となっていることを心よりおわび申し上げます。
- 市の職員一人ひとりが改めて制度あるいは法令にのっとり適正に事務執行を行い、組織全体としてのコンプライアンスを確保していかなければならないと考えています。
- 研修の実施、マニュアルの整備、そして活用です。マニュアルがあっても使われないというケースが続いていますので、そういったことも含めて、内部統制の強化、組織的なチェック体制の強化を図って、強い決意を持って再発防止策に取り組んで、全力で信頼回復に努めていきたいと考えています。
- 埼玉新聞 最近起きている要因はどのように分析されていますか。
- 市長 1つは、様々な業務において慣れが出てきてしまって、基本的に各業務についてはマニュアルがきちんと整備され、毎年度当初に各局長にもマニュアルの整備と活用について徹底的にお話をしているつもりですが、必ずしも現場ではそれが浸透し切っておらずに、その基本が守られていない。その結果、チェック体制が緩くなってしまうたり、本来確認をしておかなければいけない、あるいはやっておかなければいけないプロセスを省いてしまったりということが起こっていると感じています。やはり基本はマニュアルだと思っていますので、もう一回しっかりと基本に戻って、基本に忠実に業務を行うことによって信頼の回復に努めていきたいと強く考えています。

その他：「グリーンヒルうらわ」の廃止の方針について

- 朝日新聞 朝日新聞です。

今回の議会で、議案では出ていないですけども、報告で出ていますが、公設民営方式の高齢者福祉施設、グリーンヒルうらわとデイサービスセンターの廃止の件で、理由として民間施設の参入が相次いでいることとか老朽化と挙げられていましたけれども、利用者の方からすると、2月16日以降に突然発表されたという受け止めがあって、結構反発の声も大きいのですが、その辺りまずちょっと受け止めをいただければと思います。

○ 市長 グリーンヒルうらわにお住まいの皆様にとっては、大変急なお知らせになってしまった部分もあるかと思います。今後も、それぞれの入居者の皆さんの移転先の確保や説明をしっかりと丁寧に行っていかなければならないと考えていますし、その点についてよりきめ細やかに対応していきたいと考えています。ご安心いただけるように丁寧に対応してまいります。

○ 朝日新聞 その方針ではあると思うんですが、利用者の方からすると、もう説明会6回ぐらいやられたというお話ですけども、やはり納得されていない方が結構いらして、意見は聞いたけれども、方針自体は変えないという説明に対して、やはりその移るということが、民間より安いということで入ったという方もいらして、入居してまだ3か月ぐらいの方もいらっしゃるようなので、そこでやっぱりいわゆる今後ということがはっきりしないということは相当不安があるみたいなので、そこはやはり、今お話は出ましたが、改めて市長として今後そういった方の入居をどうするかというあたりをもう一言いただければ。

○ 市長 入居されて間もない方も含めて、入居されている皆様にとっては大変不安な状況が続いていると思います。この不安な状態を一日も早く解消すべく、今後移転先等の確保、またそれぞれの利用者からも、あるいはご家族からも様々なご事情などもお伺いしながら、それに合った移転先等々をしっかりと確保し、また安心していただけるような環境を私たちとしてもつくっていきたいと考えています。

いずれにしても、全体の説明会だけではなくて、個々の利用者へのきちんとした面接等々をやりながら、個々の事情に合わせた形で私たちがサポートしていきたいと考えています。

その他:さいたま赤十字病院に対する行政指導について

- テレビ埼玉 私から1点ありまして、一部報道でもあったかと思うのですが、市内のさいたま赤十字病院の精神科病棟で、患者のいわゆる強制入院という言い方をされていましたが、そういった不適切な治療が行われている実態があり、市でも行政指導に入ったということを伺いました。これに対する市長の受け止めと今後の対応ということで考えられるところを教えてください。
- 市長 精神保健福祉法において、医療保護入院前に精神保健指定医による診察を実施することは、精神科病院に入院する患者の権利を守る上で大変重要なものであると認識しています。今後も法の規定に基づいて、精神科病院に入院する患者の人権を守ることができるよう適切に対応を求め、そして進めてまいりたいと考えています。

その他:さいたま市地下鉄7号線延伸認可申請事業化実現期成会会長の辞任について

- 埼玉新聞 あと2つあるのですけれども、まず地下鉄7号線の期成会の佐伯会長が今般退任するというふうに、離職するというふうに表明されましたけれども、様々なことがご不満だったかもしれないのですけれども、その辺の途中で退任するという受け止めをお願いいたします。
- 市長 地下鉄7号線の期成会の佐伯会長が今期をもって退任されることについては、当初その前の年、前年に退任をご希望されていたわけですが、事業実施要請をもう一年で実施するというのもあって1年間延長してやっていただきました。今回残念ながら事業者への事業実施要請ができなかったことについては、佐伯会長にも大変申し訳なく思っているところです。しかしながら、佐伯会長の地下鉄7号線の延伸に向けた情熱や思いをしっかりと私たちも受け継ぎながら、一日も早くこの地下鉄7号線の延伸が実現できるように最大限の努力を引き続きやっていきたいと考えています。

その他:さいたま市PTA協議会の不明瞭支出について

- 埼玉新聞 さいたま市PTA協議会の第三者委員会の調査結果が出ましたけれども、

元会長が私物化して主導によって金銭が引き出されたという指摘がありましたが、このことの受け止めをお願いいたします。

○ 市 長 今回の問題に関する第三者委員会がさいたま市PTA協議会において5月に立ち上がって以来、2回の延長の後に報告書が出てきたということで、丁寧に対応していただいたものと認識しています。市PTA協議会には、報告書をしっかりと分析していただき、市PTA協議会の家庭、学校及び地域の最善の教育を目指し、PTA活動の発展と児童生徒の福祉を増進することという本来の目的を達成できるよう、再発防止に努めていただきたいと考えています。

○ 埼玉新聞 元会長、ご存じだと思いますけれども、調査に応じていないのですけれども、この辺はいかがですか。

○ 市 長 基本的には調査に応じていただくべきだと考えていますが、市PTA協議会の第三者委員会で取り組んでいくことですので、その中で対応していただけるものと考えています。

○テレビ埼玉 ほかによろしければ、以上をもちまして本日の記者からの質問を終了させていただきます。

○ 進 行 以上をもちまして、市長定例記者会見を終了させていただきます。

 なお、次回の開催ですが、3月27日水曜日午後1時30分からを予定しております。本日はありがとうございました。

午後 2時05分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。